

平成27年2月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成27年1月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 山陽百貨店
 コード番号 8257 URL <http://www.sanyo-dp.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高野 勝
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画統括部長 (氏名) 岩野 誠

TEL 079-223-1231

四半期報告書提出予定日 平成27年1月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第3四半期の連結業績(平成26年3月1日～平成26年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第3四半期	14,173	1.3	81	11.1	136	2.2	48	41.0
26年2月期第3四半期	14,355	0.2	91	50.1	133	33.0	82	21.1

(注) 包括利益 27年2月期第3四半期 51百万円 (42.5%) 26年2月期第3四半期 89百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第3四半期	60.48	
26年2月期第3四半期	102.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年2月期第3四半期	13,287	1,499	11.3
26年2月期	13,753	1,448	10.5

(参考) 自己資本 27年2月期第3四半期 1,499百万円 26年2月期 1,448百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期				0.00	0.00
27年2月期					
27年2月期(予想)				0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,503	1.9	169	39.0	214	37.9	175	30.6	218.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

期末自己株式数

期中平均株式数(四半期累計)

27年2月期3Q	810,000 株	26年2月期	810,000 株
27年2月期3Q	7,073 株	26年2月期	7,073 株
27年2月期3Q	802,927 株	26年2月期3Q	803,021 株

四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、四半期決算短信(添付資料)P.2「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成26年3月1日～平成26年11月30日）における国内経済は、期首は、政府の景気対策の下支えや消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により、企業業績や個人消費に改善傾向がみられるなど、景気は緩やかな回復基調にありましたが、4月の消費税率引き上げや原材料等の輸入価格上昇に伴う物価高等の消費の押し下げ要因により、景気の先行きは、引き続き楽観視できない状況で推移いたしました。

百貨店業界におきましては、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要により、宝飾品・美術工芸商品などの高額商品や化粧品・ファッション商材などの身回品のまとめ買いによる大幅な売上がありました。増税後はその反動から、売上が大きく前年を下回り、特に地方都市の店舗におきましては、個人消費の低迷も相まって、未だ厳しい商況が続いております。

このような状況の中、当社グループは本年度よりスタートする新たな中期経営計画（平成26年度～平成28年度）を策定し、そのビジョンに掲げる「日本一生き生きとした百貨店」の実現に向け、さらなる取り組みの強化に努めるべく、各種の営業施策を展開してまいりました。

営業面では、姫路商圏におけるオーバーストア状態の中で差別化を図るべく、引き続き商品力の強化と店舗環境の整備に注力してまいりました。具体的な取り組みといたしましては、地階食品フロアには、県内初出店となる京都の名店、銘茶「中村藤吉本店」、お吸物・茶漬専門店「京洛辻が花」を、本館4階婦人服フロアには、英国の上品でエレガントな婦人服「バラ色の暮し」を、本館6階子供服フロアには、国内外の人気ブランドを取り揃えたキッズセレクトショップ「ストンプ・スタンプ」をオープンいたしました。また、本館5階生活雑貨フロアには、「ギャラリー山陽」をオープンし、ディズニーファインアート展やプラレール博覧会、美術・雑貨・クラフト展等の人気催事を週替わりで行い集客に努めるとともに、山陽姫路駅高架下「モルティひめじ」内に、新たに売場を拡張し、特設催事会場として利用することにより、売上の拡大に寄与いたしました。美術催事といたしましては、日本画の清水規など有名作家の個展を開催するとともに、増税前の高額品購入の駆け込み需要を取り込むため、店内外で各種催事を行い、大きな成果をあげることができました。

経費面におきましては、広告宣伝費をはじめ、諸経費の徹底した節減を実行し、引き続き限られた経営資源の中で効率的な運用に努めました。

当社は、本館1階を中心に店舗拡張を伴う大幅な改装工事を実施中であり、売場面積減少の影響もあり、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は14,173百万円（前年同期比1.3%減）、連結営業利益は81百万円（前年同期比11.1%減）、連結経常利益は136百万円（前年同期比2.2%増）となり、これに前述の改装工事に伴う特別損失を計上した結果、連結四半期純利益は48百万円（前年同期比41.0%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ465百万円減少し、13,287百万円となりました。これは主に、季節要因による受取手形及び売掛金の530百万円増加や商品の137百万円増加、借入金の返済による現金及び預金の1,109百万円減少などによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ516百万円減少し、11,788百万円となりました。これは主に、季節要因による支払手形及び買掛金の463百万円増加や前受金の274百万円増加、返済による借入金の1,432百万円減少などによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ51百万円増加し、1,499百万円となりました。これは主に、四半期純利益による利益剰余金の増加48百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、当第3四半期連結累計期間の業績等に基づき検討した結果、平成26年4月14日付「平成26年2月期 決算短信」において公表いたしました業績予想からの変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,684,646	574,788
受取手形及び売掛金	664,412	1,194,838
有価証券	699,801	700,308
商品	1,010,801	1,148,731
貯蔵品	12,668	12,260
繰延税金資産	16,283	15,174
その他	127,541	183,402
貸倒引当金	△67	△120
流動資産合計	4,216,089	3,829,384
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,720,774	3,687,642
土地	4,724,084	4,724,084
その他(純額)	306,930	260,926
有形固定資産合計	8,751,789	8,672,653
無形固定資産	155,234	150,840
投資その他の資産		
投資有価証券	102,135	110,382
繰延税金資産	12,455	12,455
差入保証金	468,401	472,091
その他	62,496	55,170
貸倒引当金	△15,053	△15,000
投資その他の資産合計	630,434	635,099
固定資産合計	9,537,458	9,458,594
資産合計	13,753,547	13,287,978
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,808,825	2,272,292
短期借入金	1,850,000	1,242,500
未払法人税等	65,729	1,417
前受金	2,104,772	2,379,531
商品券	1,383,004	1,355,946
賞与引当金	14,014	28,584
商品券回収損引当金	261,200	260,600
その他	444,691	684,184
流動負債合計	7,932,237	8,225,057
固定負債		
長期借入金	3,980,000	3,155,000
繰延税金負債	9,732	11,103
退職給付引当金	272,053	297,366
その他	111,170	99,881
固定負債合計	4,372,957	3,563,351
負債合計	12,305,194	11,788,408

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	405,000	405,000
資本剰余金	7,554	7,554
利益剰余金	1,033,289	1,081,854
自己株式	△15,127	△15,127
株主資本合計	1,430,716	1,479,281
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,636	20,288
その他の包括利益累計額合計	17,636	20,288
純資産合計	1,448,353	1,499,569
負債純資産合計	13,753,547	13,287,978

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年11月30日)
売上高	14,355,336	14,173,352
売上原価	11,241,547	11,108,952
売上総利益	3,113,788	3,064,400
販売費及び一般管理費	3,022,086	2,982,854
営業利益	91,702	81,546
営業外収益		
受取利息	767	560
受取配当金	2,013	2,268
受取家賃	28,326	26,498
債務勘定整理益	93,982	88,013
その他	44,692	43,672
営業外収益合計	169,782	161,013
営業外費用		
支払利息	56,333	36,841
商品券回収損引当金繰入額	70,239	68,770
その他	1,191	326
営業外費用合計	127,764	105,938
経常利益	133,720	136,621
特別利益		
固定資産受贈益	2,600	—
特別利益合計	2,600	—
特別損失		
固定資産除却損	11,523	56,099
特別損失合計	11,523	56,099
税金等調整前四半期純利益	124,797	80,521
法人税等	42,417	31,957
少数株主損益調整前四半期純利益	82,379	48,564
少数株主利益	—	—
四半期純利益	82,379	48,564

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	82,379	48,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,657	2,651
その他の包括利益合計	6,657	2,651
四半期包括利益	89,037	51,216
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	89,037	51,216
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年3月1日至平成25年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成26年3月1日至平成26年11月30日)

当社グループは、百貨店業単一であるため、セグメント情報の記載を省略しております。